



発行者  
大曲商会議所青年部  
大仙市若竹町33番7号  
TEL62-1262  
編集・発行  
広報委員会

大曲の花火を終えて

花火大会運営委員会

委員長 栗津 憲靖

まずは無事終わったという気持ちでみなさんほっとしているのではないかと思います。毎年のことですが、栈敷の組立作業が始まるとまた来たなという気持ちと、大会当日までの天気予報が普段以上に気になってきます。今年はお盆前に台風11号、近畿や東海地方では大雨により浸水災害や土砂災害が発生したりと不安定な天気が続き、大会当日は本当にできるのかどうか、みなさんハラハラしていたと思います。案の定、21日の花火会場確認作業、花火ウィークは雨のため



中止。河川敷付近駐車場5730台分も駐車不可に。しかし22日の栈敷の確認作業はこまめに水分補給、休憩を取らなければ熱中症になってしまおうのではというぐらい、ギリギリと強い日差しのもと行ないました。

同日のウィーク会場の打ち上げ花火は前日の中止分もまとめて打ち上げる贅沢な企画となりましたが、開始時間を少し早めたものの大雨と雷により途中で中止となってしまいました。途中で歯切れの悪い終わりとなってしまいました。そして、朝方まで雨は続き・・・。

大会当日、早朝は小雨が降っていました。準備作業中に雨も上がり、大会開始の合図の花火も大きな音をたて鳴り響きました。一般席の誘導も大きなトラブルが無く、栈敷席にも昼過ぎから徐々に。そして昼花火前から19時過ぎぐらいまでは途切れることなくゲートを通り過ぎていきました。花火の音とお客さんの歓声を聞きながらの終盤、大会提供の打ち上げ幅900Mの超ワイドスターマインは大迫力で大絶賛でした。その後から席を立つお客さんも増え、終了後の5番ゲート階段前は3方向からお客さんが集中し、なかなか人が流れず、待ち時間も長くイライラしている人も多かったと思います。



前日までの雨により会場内は足元が悪く、いろいろな面でお客様には迷惑がかかったと思います。レイアウト変更後初めてのことだらけでしたが、今年の反省点、改善事項を話し合い、これからも続く大曲の花火を観にきた人全員に感動と、来てよかった。これが日本一の花火大会だ。と言ってももらえるように花火の質だけでなく、私たちの会場運営も完璧に近づけるようにがんばって行きたいと思います。皆様、本当にお疲れ様でした。

夏祭りに参加して

交流委員会 佐藤 優作

8月17日夏祭り、天気は残念ながら小雨。私たち交流委員会は『子供しり相撲大会』を開催しました。



数ヶ月前の委員会、酒の勢いで決定したかのように思えた『しり相撲大会』でしたが、佐藤渉委員長の下で何度も話し合い、改良を繰り返して綿密な

計画を立てた企画でした。準備は万全、あとは子供たちが集まって盛り上がりつつ、お昼になって成功なのですが、お昼になっても子供の姿はほとんどなし。不安になりながらもみんなで一斉懸命声をかけました。おかげで最終的には20名ほどの子供たちが集まってくれて、イベントはそこそこ成功しました。参加してくれた子供たちも楽しそうで、来年も継続して夏祭りの名物イベントになったら面白いなと思います。



夏祭りは青年部をはじめた皆さんの方々が協力をしてくださっていました。皆さんの「大曲を盛り上げたい」という熱い思いに感動するとともに、そんな中に自分も入れたことをとてもうれしく思います。

大曲の思い出に

事業委員会 副委員長  
高根 聡

事業委員会で大曲の花火に向けてオリジナルのグッズ開発を模索し始めたのは6月の中旬の事でした。大曲の花火の記念になるお土産として何が良いのだろうか？お客様目線と予算内の最大効果を狙いました。昨年度から大曲の花火男を使用したグッズ開発はこの路線で進む事が一番効果の高い有り難いキャラクターとなっていました。委員会内でのグッズ開発案は産みの苦しみで何が良さそうなのか未知の領

域に今年も入り込みました。開発とは何事もこの様なものなのだろうか？様々な開発案が出されネタは尽きません。昨年度も好評だったバスタオルセツトは素材とデザインを替える事としました。もう一つの新商品としてインパクトのあるアイテムが検討されました。大曲の花火のフィナーレを飾る花火師との感動のシーンに使うフィナーレライトに決定、しかし何種類ものサンプルでやっとなり満足の商品となりました。もちろん大曲花火男デザインですがね！



このライトが使われてフィナーレを迎える光景が楽しみです。これで大曲花火男ストリップと合わせて3アイテム2014年度グッズが完成いたしました。

さて、昨年度の販売方法からひと工夫して大曲YEGのブログに大曲のイチオシ！として大曲の街を愛している我々YEGだからこそイチオシ出来るとして大曲の花火お土産を「大曲のイチオシ！」としてブログでネット販売へ誘導を試みました。広報委員会の協力でアクセス数の上がる時期に向けて掲載をしネット販売の実績を残す事が出来ました。大曲を知ってもらうことから始めたYEGホームページの役割ですが、そこから経済効果の出来る仕組みになれる予感のする結果でした。

花火ウィークも8月17日の夏まつりから始まり事業委員会も販売ブースの段取りやメニューの決定とこの時期は何足のわらじを履いて運営に携わる人がたくさんいる時期

です。常に新しい事を取り入れでは成功、失敗を繰り返してはいますが、夏まつりメニューのごぼうスティック揚げは確実に来年度はNGとして引き継ぎ事項となりました。焼き鳥の焼き焼きチームは昨年度よりも格段に美味しく焼いて頂き完売しました。さすがチカラある毎年のチームで焼き場（石）の上にも3年です、来年度は究極の焼き鳥になる事でしょう。期待大！



大曲の花火当日は昨年度同様丸の内駐車場をお借りして再任高橋健店長とニューフェイスでマダムキラ佐藤君とベテラン女子ズ2人の活躍で集客、売り上げ共に大きく進化致しました。会場内本部5番ゲート付近の本店販売は会場レイアウトによる観客動向を心配しておりましたが、こちらも竹内OBの後釜でニューフェイス堀川君やこちらの強力女子ズ2名の頑張り、信一委員長の仕切りで昨年並みの売り上げでお客様に大曲の思い出をたくさん購入して頂きました。

そして大曲の花火のフィナーレにその感動の場面を目撃する事となりました。自分は5番ゲート長としてフィナーレの時に仮設お立ち台に上っていました。フィナーレのいつもの曲がかかり感動のシーンですが、一面フィナーレライトで光のジュータンの様な光景を見て超感動しました。更に大曲花火男フィナーレライトを使っていたのも見て感動倍増で



した。大曲の思い出をこれからも購入して頂けるグッズ開発をこれからも心がけて、お客様も自分たちYEGメンバーも感動出来る様にして行きたいと思いました。最後にYEGメンバー皆様のご協力にて無事に大曲の花火の業務を終える事が出来た事に感謝致します。ありがとうございました。

大曲の花火ウィーク2014

花火大会運営委員会

副委員長 大友信博

去る8月17日から23日までの1週間、今年で4年目となる大曲の花火週間に開催される「大曲の花火ウィーク2014」が、丸子橋たもとにおいて、かくも盛大に開催されました。この時期の地域が誇る花火関連のイベントとして定着してきた花火ウィーク、まちの青年たちによる粋で活気あふれる伝統の水掛神輿が、意気揚々とオイッサ！の掛け声でお昼前の土屋館界限を大いに賑やかせました！



同時に旧大曲市内の各町内から続々と子ども樽神輿が中通に集結し始め、交差点内にて子ども樽神輿コンテストが行われました。百の町内があれば百通りのお祭りパフォーマンスがあり、個々それぞれの町内の子どもたちはたくさんの汗をかき、くたくたになりながらも一生懸命頑張つて樽神輿を観てきた市民の方々の目を大いに楽しませていました。

そして何といつても二度目の開催となるラーメン好きにはたまらないスペシャル企画、「おおまがり大ラーメンフェス」。秋田県内の熱き麺師たちの数店舗がブース出展し、オリジナルの創作ラーメンを販売しました。大曲の夏祭りは今年も大きな事故もなくファイナルの花火を打ち上げ、無事終了することが出来ました。

18日、19日、20日と間を空け、続く21日からは大曲の花火前々夜祭、花火ウィーク会場内の本格始動ということ、特設ステージもジャンルを超えた音楽祭が始まりました。

ブース部門はJA、ときめきチーム、年代会ブース等が中心となり、場内を活気でいっぱいにしました。

そしてもうひとつの目玉と言えば、マーチング王国大曲市内外のマーチングチームが大集結！



大迫力の演奏を奏でながらの大パレード、商店街を一気に明るく、そして人の渦をつくりました。汗をかきながら一生懸命に演奏しているマーチングメンバーの姿を拝見し、関心を覚

えると共に感動を深く受けました。これからもこの地域の「音」の主役たちとして益々ご活躍を期待するものと感じました。そして最終日24日は毎年のことながら大曲の花火会場へ足を運ぶ多くの人たちが花火ウィーク会場で足を止め、地域の味、音楽、各種おもてなしをご堪能いただき秋田、大曲、そして東北の魅力を存分にPR出来たものと深く感じています。





そして花火大会当日、花火委員会としても腕の見せ所。YEGのメンバーをはじめとする様々な各スタッフの協力のもと幕を開けました。早朝の一般観覧客誘導もスムーズな進行により事故もトラブルもなく遂行され、各ゲートに配置されたYEGメンバーも本番に準備万端、アルバイトのスタッフを指導しながら5時からはいよいよ昼花火に備えました。ギリギリと焼け付く日差しが強い中3時過ぎから敷席の入場

客も増し緊張感を抱えながら皆さん各役割を務めました。そして今年の花火大会も大きな事故もなく無事終了することができました。来年へ向けての課題も多々ありましたが、来年もおもてなしの心で誠心誠意全力でお客様をお出迎えしたいと思います。花火大会へ向けて準備等にご陣されたスタッフの皆様、YEGの皆様方、暑い中本当にお疲れ様でした。

~~~~~  
編集後記

遅くなってしまいました。花火ウィーク特集です。今年も一週間に凝縮された濃い内容でしたね。メンバーそれぞれの持ち場で頑張りましたが、心は一つ！おもてなしの心でお客様をお迎え致しました。毎年ですが品質を向上しやっぱり大曲最高！また来たい！と思ってもらえるような花火大会になるよう頑張つて参ります。皆様大変お疲れ様でした。(いずみ)

